浄土宗方便山善立寺

香蓮（こうれん）

第 13 号

平成三十一年正月号

echo

「これが私の生きる道」

永心寺副住職 / 作曲家　見澤清縁
善立寺副住職　小路竜嗣

巻頭 / 仏教メモ

ユネスコ無形文化遺産登録記念！

日本の来訪神！

ユネスコ無形文化遺産登録記念！

日本の来訪神！

なまはげ／秋田

実は鬼じゃなくて神様

秋田県男鹿（おが）半島に伝わる行事。大晦日、「悪い子はいねーか」と家を回る。家の者は丁重にもてなし、今年の悪事を釈明し、お酒などを振る舞い送り出す。

語源は囲炉裏にあたってできた低温やけどの方言「ナモミ」をはぐ「ナモミはぎ」がなまり「なまはげ」と呼ばれるように。秋田といえばなまはげというイメージですが、実は秋田全体の文化ではなく、男鹿半島独自のもの。

©Douglas PPerkins CC3.0

なまはげ

見島のカセドリ／佐賀

見島

神の使いはつがいのニワトリ

佐賀県見島（みしま）に伝わる行事。

カセドリは神の使いであり、つがいのニワトリとされています。

家々をめぐり、家内安全、五穀豊穣を祈願するため、竹の先で家の床を叩き、悪霊を払う。

カセドリは常にうつむいていますが、顔を見ると幸せになると言われる。そのため、家人は接待の際、顔を上げさせようと底の深い器を用いるそう。

©Pekachu CC3.0

神社から出発するカセドリ

© Silhouette Design : http://kage-design.com TopeconHeroes

©Miyako_paantouCC3.0

パーントゥ（資料館にて）

パーントゥ／宮古島

泥を塗りつけて厄払い

パーン＝食べる、ピトゥ＝人　からパーントゥと呼ばれるようになったと言われています。

泥を塗りつけることで、悪霊を連れ去る。

しかもこの泥は特別な井戸の底に溜まったものでとてもくさい。塗られたら数日はその匂いが取れないそう。しかも新築の家や、車・レンタカーにも容赦なく泥をべったり塗られる。

近年、興味本位で参加した観光客から「服を汚された」という苦情や汚されて怒った観光客からパーントゥが暴力を受けるなどした影響で、大々的な宣伝はせず、パーントゥに警護をつけるなどの対策を行っている。

ミルク神／沖縄

弥勒菩薩が起源。でも顔は布袋様

ユネスコ無形文化遺産には登録されていない沖縄に伝わる豊穣の神様です。

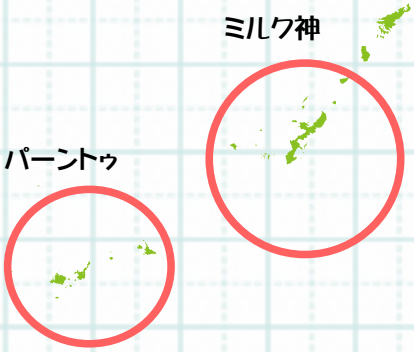
ユーモラスなお面を被り、行列を導き歩きます。

ミルクは牛乳ではなく、「弥勒（みろく）」がなまり、「ミルク」と呼ばれるように。

布袋様の顔をしているのは、布袋様が弥勒菩薩の生まれ変わりと信仰する中国南部の影響です。台湾やベトナムでも同様のお面が伝わっているそう。ちなみに女性の神様です。

©Mitsuru Ogino CC3.0

ミルク神のお面



甑島のトシドン／鹿児

子供に歳餅を与える神様

鹿児島県甑島（こしきじま）に伝わる行事。家を回り、子供にその年行った悪いことを伝え反省させ、良いところを褒め、歳餅を与え、去る。

トシドンが帰った後、無事新年を迎えることができるとのこと。

これが私の生きる道

永心寺副住職 / 現代音楽作曲家
見澤清縁

見澤清縁（みさわ せいえん）

国立音楽大学音楽文化デザイン学科
創作専修（作曲）を主席で卒業後、
大正大学に編入、浄土宗僧侶資格取得
大学卒業後はドイツ・ドレスデン音楽大学
に音楽留学し、作曲を学ぶ
現在は僧侶として永心寺副住職
現代音楽作曲家として、作曲活動や
演奏会など精力的に行う

インタビュアー

善立寺副住職　小路竜嗣　32 歳
信州大学大学院工学系研究科卒
㈱リコーに入社　開発者として勤務
増上寺にて加行成満
見澤上人とは加行で同じ班

今回は群馬県富岡市の永心寺副住職、見澤清縁（みさわせいえん）さんです。

見澤さんは国立音楽大学音楽文化デザイン学科創作専修（作曲）を主席で卒業されたのち、大正大学に編入し、浄土宗僧侶になられました。

その後、ドイツへ音楽留学をされるという行動力溢れる方です。ですが、実は自宅に引きこもっていた時期もあったそうで……

音楽をはじめたきっかけ

父と母の影響

見澤清縁上人（以下、見澤）　永心寺住職である父が音楽好きで、母もピアノの先生でした。私もそんな両親の影響で幼少期からピアノを習っていました。

しかし、父の音楽教育がスパルタで、指導を受けるうちにピアノもクラシックも嫌いになっちゃいました。

クラシックはアニメがきっかけ

小路　ではその後、作曲を志すようになったきっかけはなんですか？

見澤　子供の頃、作中にクラシックを使っているアニメが好きで。そこで流れていたドボルザークの交響曲9番「新世界」を聞いて、クラシックかっこいい！と思い直しました。

だんだんと演奏することより、音楽作ることに興味を持つようになりました。

受験失敗から引きこもりに

見澤　音楽を作りたい！と決心し、東京藝術大学を受験しました。でも、結果は不合格……

その後、勉強や生活に対するモチベーションが下がり、ついには家からも部屋からも出られなくなりました。

当時は同居している両親とも顔を合わせたくないという、自分で言うのもなんですが、ひどい状況でした。

翌年も受験したのですが、また不合格で、結局1年半くらい引きこもっていましたね。

2浪目で国立音楽大学に合格することができ、なんとか、ひきこもり生活から抜け出すことができ

現代音楽との出会い

ました。

現代音楽はこれまでやってきたクラシックの延長線として学んでいただけで、将来は商業音楽に進むつもりでした。もともと、映画音楽が好きでしたし。

でも、大学1年のときフランスの現代音楽作曲家レヴィナス「呼び声」という曲を聞いて感動し、現代音楽を志すようになりました。

評価への苦悩

小路　引きこもりから現代音楽という自分のやりたいことを見つけ、順風満帆の大学生活ですね。

見澤　それが、現代音楽の道に進むとまた別の悩みが生まれまして。

音楽って、その人の感性や好みによって好き嫌いが別れますよね。自分では自分の曲が良いと思っている。でも先生は違う人を高く評価する。他人の好みに合わせて評価をもらうべきか。それとも自分の好みを押し通すのか。

また、作曲家は私を含め、気が強いので、生徒という立場であっても、先生のおっしゃることに納得を本心ではしていないことがあるんですね。その折り合いがうまくいかないことがつらかったですね。

ひきこもりから抜け出したと思ったら、今度は人からの評価に悩み、**どこに行っても辛さから逃げ出せない**ことに気づきました。

ふと、仏教に出会う

見澤　そんなとき、何を読んだのかも覚えていないんですが、お釈迦様が説いた「四苦八苦」を思い出しました。

生きることはつらい
この世は苦しみばかりである

一見、生きることに対し、ネガティブなんですが、

「そうか。お釈迦様がそう言うなら仕方ないな。私たちはみんな悩むし、みんな辛いし、それが当たり前なんだ」

と私は肩の荷が下りた感じがしました。

また、法然上人が説いた、**私たちはみな凡夫である**という教えもすごく心に響いて。

くじけて、挫折して、もうこれ以上頑張れないよと思ったとき、『頑張れ！負けるな！』ではなく、**『大丈夫、みんな無理なんだから。ほどほどにね』と言ってくれたのが仏教でした。**

それからはほどほどに頑張ろうと思えるようになりましたね。

もし、あのときお釈迦様の言葉を思い出さなかったら、作曲活動を辞めていたと思います。

この頃から音楽だけでなく、将来はお坊さんになる道もいいなと思うようになりました。

次号ではお坊さんになって変わったこと。ドイツでの生活について伺います。

浄土宗　道法山 永心寺

創建は前田利意が祖母である
「明運院殿照誉永心大禅定尼」
の菩提を弔う為に開いたもの。
寺名もそれに由来する。
上州観音霊場第二十番

住所：群馬県富岡市七日市 884

永代供養塔が完成しました

善立寺永代供養塔が無事完成致しました

平成30年度総会にて承認いただいた善立寺永代供養塔が7月22日の開眼法要を終え、無事完成いたしました。

これまで、善立寺には個別墓地以外に御遺骨を供養する場所がなく、墓地の後継者がいない方、墓じまいをお考えの皆様等には、たいへんご心労をおかけしてまいりました。

すべては皆様の安心のために

完成以後、既に数多くのご相談をいただいております。皆様「相談できてよかった。これから安心して過ごせます」と晴れやかなお顔でお帰りになっていただいております。

浄土宗には「安心起行」という言葉があります。「安心」とは不安なく生きていくこと。「起行」とはお念仏をお唱えすることです。安心があってこそ、仏の教えを信じる気持ちが湧き上がります。この永代供養塔が末永く多くの方の安心となり、故人に心を向け、手を合わせ、お念仏をお唱えするよりどころとなることを祈っております。

どなたでもご納骨いただけます

この永代供養塔は善立寺の檀信徒の皆様はもちろん、宗派・宗教を問わず、どなたでもご納骨いただけます。いつでもお気軽にご相談ください。

善立寺は、皆様に安心してお過ごしいただけるよう、精進してまいりますので、今後もご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い致します。

お問い合わせ先 / 善立寺：0263-53-2645

お知らせ

おてらおやつクラブが
グッドデザイン大賞を受賞しました！

おてらおやつクラブ

善立寺も参加している「おてらおやつクラブ」が 2018 年度グッドデザイン大賞（内閣総理大臣賞）を受賞しました！

「おてらおやつクラブ」は、全国のお寺の「おそなえ」を「おさがり」として、さまざまな事情により生活に困窮する世帯へ「おすそわけ」する活動です。活動に賛同する寺院は全国 1000 カ寺、連携する支援団体は 392 団体、毎月 9,000 人の子どもたちがおやつを受け取っています。

審査員による評価コメント

従来、寺院が地域社会で行ってきた営みを現代的な仕組みとしてデザインし直し、寺院の「ある」と社会の「ない」を無理なくつなげる優れた取り組み。地域内で寺院と支援団体を結んでいるため、身近な地域に支えられているという安心感にもつながるだろう。それができるのは、寺院が各地域にくまなく分布するある種のインフラだからだ。全国 800 以上の寺院が参加する広がりも評価ポイントのひとつであった。活動の意義とともに、既存の組織・人・もの・習慣をつなぎ直すだけで機能する仕組みの美しさが高く評価された。

お知らせ

松本浄土宗青年会主催
僧俗合同別時念仏会のお誘い

若いお坊さんたちと一緒にお念仏しませんか？

松本浄土宗青年会主催の僧俗合同別時念仏会（別時会）が**３月７日**、善立寺にて行われます！

別時会は「特**別**に**時**を定めてお念仏をする法**会**」の意味で、数十分間、一心に「南無阿弥陀仏」とお唱えします。蝋燭の明かりに照らされた荘厳な本堂で、阿弥陀様の慈悲をぜひ体験してみてください。どなたでも参加いただけます。皆様のご参加をお待ちしております！！

無料イベント

日程：２０１９年３月７日（木）
受付：午後３時（３時２０分～開式）
場所：善立寺 本堂
内容：法話 / 別時念仏 / 夕食（お弁当が出ます）
電話：0263-53-2645（善立寺）
メール：zenryuji.temple@gmail.com

②北海道地震ボランティア

①永代供養塔開眼式

⑤おてらおやつクラブ

④薬師・観音祭

③吉水講詠唱大会

平成三十年　下半期の活動

永代供養塔開眼式

7月22日、永代供養塔開眼法要を執り行いました。晴天にも恵まれ、檀信徒会役員の皆様、建立までお世話になった役員等の皆様と共に末永い安寧をお祈り致しました①

盆施餓鬼法要

7月28日、当山最大の年中法要、盆施餓鬼会を執り行いました。法話は安曇野市瑠璃光寺副住職の關恒明上人。今年も大勢の皆様にご参列いただき、誠にありがとうございました。

北海道地震復興ボランティア

10月23日、長野教区浄土宗青年会員18名にて北海道厚真町へボランティアに伺いました。

私たちが行ったのは倒壊家屋の撤去作業です。現地も少しずつ復興が進んでいます。厚真町の空はとても広く、自然豊かな素敵なところでした。北海道に行って美味しい物を食べることも大切な復興支援ですので、皆様もぜひ足をお運びください②

薬師・観音祭

11月4日、恒例の薬師・観音祭を行いました。落語には昨年大好評の和泉家志ん治師匠。今年は法話と落語のコラボ。共通テーマを「知恩院」とし、副住職は「知恩院を建てたお坊さん」、志ん治師匠は知恩院を題材にした「抜け雀」を演じていただきました。今年も大好評で、皆さんの「楽しかった！」のお言葉がとても嬉しかったです③

吉水講詠唱大会

11月12日、吉水講詠唱大会（松本市キッセイホール）に参加しました。善立寺御詠歌隊は「増上寺和讃」を奉納しました。皆さん緊張しつつも、日頃の練習の成果を発揮しました。

善立寺では月1回、練習とお茶会を行っております。新しく加入される方も増え、和気あいあいと活動しております。随時、会員を募集しておりますので、いつでもご連絡ください。

おてらおやつクラブ

仏様にいただいたお供物の「おさがり」をひとり親のご家庭や施設、こども食堂などに「おすそわけ」する全国的な活動「おてらおやつクラブ」

当山では皆様から頂いたお供物の一部をフードバンク信州様におすそわけしてます。

本年の回忌法要早見表

1周忌	平成30年(2018)没
3回忌	平成29年(2017)没
7回忌	平成25年(2013)没
13回忌	平成19年(2007)没
17回忌	平成15年(2003)没
23回忌	平成9年(1997)没

※休日は混み合いますので、お早めにご相談下さい。

編集後記

今回、インタビューした見澤さん、紙面の都合上、仕方なくカットした話もございます。善立寺の公式サイトにて全文が公開されていますので、ぜひ御覧ください。

この香蓮が仏教に興味を持つきっかけとなればと願い、今後も制作を続けてまいります。

副住職　小路竜嗣

善立寺公式サイト：http://zenryuji-jodo.com

平成31年1月1日　発行所　方便山善立寺　塩尻市広丘野村793-1
電話 0263-53-2645　発行・編集人：小路竜嗣